

## 目 次

|                 |              |                           |
|-----------------|--------------|---------------------------|
| 漢文を読むための大辞典     | 好川 聡…………… 1  | 情報の探し方(4)…………… 4          |
| 図書館利用案内…………… 3  | 論文執筆のための長期貸出 | 英語の文献を探すとき WEB OF SCIENCE |
| 教員向け e-DDS サービス |              | 図書館からのお知らせ…………… 6         |

## 漢文を読むための大辞典

好 川 聡



学生のみなさんが大学の図書館を利用するときそこには様々な理由が考えられます。卒論やレポートのための資料集め、自分では買えない書籍の閲覧、あるいは単に読書の楽しみのため、等々ありますが、その中の一つに、手持ちの辞書では調べきれないことを図書館の大辞書を使って調べる、ということがあるかと思えます。私は中国文学を専門としているので、漢文関連のことしか詳しく分かりませんが、岐阜大学図書館には漢文を読むための様々な辞書が所蔵されています。最近になって入荷されたものもあり、いざ調べようとなると何をどう使えばいいか迷うこともあるかもしれません。今回は、漢文を読むための大辞書とその使い方を紹介してみたいと思います。

## I. 大辞書の特徴

辞書の紹介に入る前に、漢文(古典)の大辞書とはどういうものなのか考えてみましょう。大辞書というと収録語彙数の多さに目がいきがちですが、それだけではありません。漢文を読むための大辞書は『大漢和辞典』が有名ですが、それをめくってみると、それぞれの意味の下に、必ず用例がついており、その意味に訳する根拠を示しています。よく使われる語彙ですと、一つの意味に5~6つの用例を載せ

ていたりもします。一方で、角川の『新字源』や大修館の『新漢語林』など普通の漢和辞典をめくってみると、七八割方が意味の説明だけで用例を載せていません。大辞書の大辞書たる所以は、語彙数の多さだけでなく、必ず用例を載せているところにあるのです。

漢文を読む際に、過去の用例を調べるということはとても大切なことです。これは漢文に限らず、昔の文献を読むときに常についてまわる問題ですが、同じ漢字や言葉でも、今と同じ意味、同じ語感で用いられているとは限りません。例えば「風景」という言葉は、古くは「風と光」という意味で用いられ、今でいう風景の意味はありませんでした。また、「策杖」という言葉を大漢和で引くと、「つえをつく」とありますが、その用例に挙げられた曹植「苦思行」をみると、隠逸者の行為の意味合いがあることが読み取れます。どの時代にどういう使われ方をしたかというのは、用例をよく読むことで初めて分かるわけです。

さらに言えば、辞書に載せてある意味が必ずしも正しいわけではありません。例えば、王之渙(おうしかん)の有名な唐詩「鶴鵲楼(かんじゃくろう)に登る」に、「白日 山に依りて尽き、黄河 海に入りて流る」という句があります。この「白日」と

いう言葉、例えば『新漢語林』で調べてみると、「①かがやく太陽。」とあり、その用例にこの句が引用されています。一方『大漢和辞典』で調べてみると、「①かがやく太陽。」とは別の、「③ゆふ日。」の項の用例にこの句が引かれており、辞書によって解釈が分かれています。

この「白日」の解釈に関しては、かがやく太陽でも夕日でもなく、単に太陽であるという趣旨の考察が、すでに清水茂氏によってなされています（『吉川博士退休記念中国文学論集』所収「「白日」の解釈」参照）。「白」の字は、「日」を二字でいうために添えられたような字で、「白」にかがやくという強い意味が常にこめられているわけではありません。その太陽が、輝いているのか、朝日なのか、夕日なのか、などはそれぞれの文脈に即して考えるべきことで、辞書的な説明としては単に太陽ということで十分なのです。

このように、辞書の説明というのは、あくまで一つの解釈・意見に過ぎません。研究の進歩や現代語そのものの変化によって、ふさわしい訳語というのは変わっていくものです。ですがそこに載せられた用例の方は、その時代の人があるように用いていた確かな証拠であり、これが動くことはありません（厳密に言えば、この点にも問題はありますが）。過去の用例を読んでいくことで、読み手はどの時代にどういう文脈の中で使われていたかとか、その言葉の語感を知り、今読んでいる漢文にふさわしい訳を考えていくわけです。辞書の解釈でいいのかなと疑問に思うときでも、用例があれば、自分なりに考えることができます。本格的にその言葉の意味を知りたい人にしっかりと材料を提供してくれる、それが大辞書の意義といえるでしょう。

どんな辞書をひくにせよ、用例もよく読んで自分の頭で考えて消化することが大切です。こうしたことを踏まえた上で、これから紹介する大辞書を使ってもらえればと思います。

## II. 『大漢和辞典』

前段で何度も例に挙げた大修館書店出版、諸橋轍次監修の『大漢和辞典』は、今から五十年以上も前に刊行されたものですが、本体十二冊、親字五万余、熟語五十三万余を誇り、今でも日本では、この収録語彙数を越える辞書は出版されていません。岐阜大学図書館には、三階の言語の棚や早野文庫にその縮写版が、二階の参考図書の棚にその修訂版が入っており、図書館のどこでも手軽に引くことができます（修訂版は手軽に持ち運べる大きさではありませんが）\*1。『大漢和辞典』の用例は、昔の用例集からの孫引きも多く、原典にあたってみたら見あたらない文字が違っていたりすることがままありま



(写真 『大漢和辞典』)

す。用例の読み方が間違っていることも少なくありません。その欠点を改めたのが修訂版で、用例の再チェックがなされており、信頼性が増しています。とはいえミスは残っているので、どちらを使うにせよ、論文等で引用する際には注意が必要です。

漢字の排列は部首順で並んでおり、普通の漢和辞典と同じ手順で引くことができますが、いくつか注意しなければなりません。一つは、すべて旧字体で書かれている点です。旧字体は戦後に常用漢字が作られるまで使われていた書体で、今でも「廣田」や「渡邊」など、人名などで用いられます。旧字体を旧字体で書くと「舊字體」となるように、いまの字体と全く異なる形になることもあります。旧字を頭に入れておかないと、調べたい熟語を素通りしてしまう、といったことにもなりかねません。

また、旧仮名遣いで書かれており、熟語欄の排列が旧仮名での五十音順になっていることにも注意しなければなりません。前段で挙げた「策杖」ですと、旧仮名では「サクチャウ」となります。「策」の熟語欄の「…ジョウ」の部分をつら探しても見つからないわけです。

こうしてみると、『大漢和辞典』は引きにくい辞書だと思われるでしょうが、幸いなことに後になって『大漢和辞典語彙索引』\*2が出版されました。これは現代仮名遣いの五十音順で熟語が検索でき、しかも常用漢字で記されています。これを使うと熟語を引く効率が格段に上がりますので、是非活用して下さい。岐阜大学図書館では参考図書の方に置かれています。

また、他に『大漢和辞典』のコンパクト版ともいえるべき、『廣漢和辞典』（三冊＋索引）が、参考図書と言語の棚に収められています\*3。これは、収録語彙数は大漢和と比べるとだいぶ少ないですが、ほぼ全ての語彙に用例が附されています。用例の重要さは前段で述べたとおりですが、廣漢和はその用例に返り点と送り仮名が附されており、初学者でも簡単に訓読できるように配慮されています（大漢和の用例は返り点のみ）。見出し字などには常用漢字が用

いられ、語彙索引もあって引きやすく、初学者にとって使いやすいものとなっています。

### Ⅲ. 『漢語大詞典』

最後に、より本格的に調べたい人のために、中国で出版された辞書を紹介しておきます。一昔前の中国には『大漢和辞典』ほどの大辞書はありませんでしたが、近年になって『漢語大詞典』十二冊が刊行されました（一九九三年に完成）。この『漢語大詞典』は、大漢和と同等以上の語彙・用例が収録されており、岐阜大学図書館には、その縮印本である三冊本が参考図書の本棚に収められています\*4。

見出し字の配列は日本の漢和辞典と同じく、部首順になっていますが、部首の並べ方が日本のとは異なるものもあります。巻末に中国語の発音記号であるピンイン索引がついているので、漢字によっては、まず漢和辞典や日中辞典でピンインを調べてから引いた方が早く引けるかもしれません。また、熟語の配列は画数順になっていますが、画数の数え方が日本とは異なるものもあるので、前後も探すようにしてください。

字義などの説明は簡体字（現代中国語の字体。日本の常用漢字より簡略化されている）で記されており、現代中国語が分からないと読めませんが、見出し字や用例の方は繁体字（旧字体）で書かれていますので、日本の旧字の知識があれば、用例を読むことができます。大漢和よりも用例の質がよく、

出典のミスもほとんどないので、その言葉の出処をより正確に知りたければ、こちらを引くべきです。また、近現代の用例も収められているので、現代中国語など漢文領域以外の語彙を調べるときにも使えます。ただし、人名・書名などの固有名詞は基本的には別の辞書をあたってください。そうした事項専用の事典で、岐阜大学図書館所蔵のものとしては、大修館の『中国学芸大事典』\*5などがあります。

孔子の有名な言葉に、「学びて思わざれば、則ち罔（くら）し。思いて学ばざれば、則ち殆（あやう）し。」（『論語』為政）というものがあります。辞書を引かなければ自分勝手な解釈に陥ってしまいますが、いつでも辞書に頼って鵜呑みにしてばかりだと自分の力として身につけません。漢文に限らず、辞書をどんどん引いて、同じくらいどんどん考えて、充実した大学生活を送れるよう願っています。

- \* 1 縮写版 図書館3階 813.2||Mor  
図書館3階早野文庫 813.2||Mor  
修訂版 図書館2階参考図書 813.2||Mor
- \* 2 図書館2階参考図書 813.2||Mor
- \* 3 図書館2階参考図書 813.2||Kok  
図書館3階 813.2||Kok ほか
- \* 4 図書館2階参考図書 823||Kan
- \* 5 図書館2階参考図書 920.3||Kon ほか  
(よしかわ さとし：教育学部准教授)

## 図書館利用案内

### ■論文執筆のための長期貸出

卒業論文・修士論文・博士論文の執筆のために必要な場合、**最大20冊まで60日間**、図書を借りることができます。

手続きは、図書館カウンターで申込書を受け取って、指導教員の先生にサインを頂いてから、**平日9時から17時の間**に、図書館カウンターに申込書を提出してください。

貸出の延長はできません。また、予約が入った場合、一時的に返却をお願いすることがありますので、予めご了承ください。

### ■教員向け e-DDS サービス

図書館では教員向けに e-DDS (Electronic Document Delivery Service) サービスを行っています。このサービスでは、岐阜大学図書館に所蔵する資料を画像データ (PDF) で提供します。お申し込みから閲覧までを Web 上で行いますので、図書館に来館することなく文献をご覧になれます。

利用対象者は運営費交付金 (寄付金 (委任経理金) を含む) 予算をお持ちの岐阜大学教員、サービス対象資料は電子ジャーナルを除く岐阜大学図書館 (本館及び医学図書館) 所蔵資料です。

e-DDS の所要時間は、おおむね 2 日 (営業日) 前後ですので、至急に文献コピーが必要な場合は、従来通りコピーカードをご持参の上ご自身で複写してください。

詳しい説明、申込方法、注意事項は、図書館ホームページのお知らせ「e-DDS サービスについて」をご覧ください。(http://www1.gifu-u.ac.jp/~gulib/guide/news.html#e-DDS)

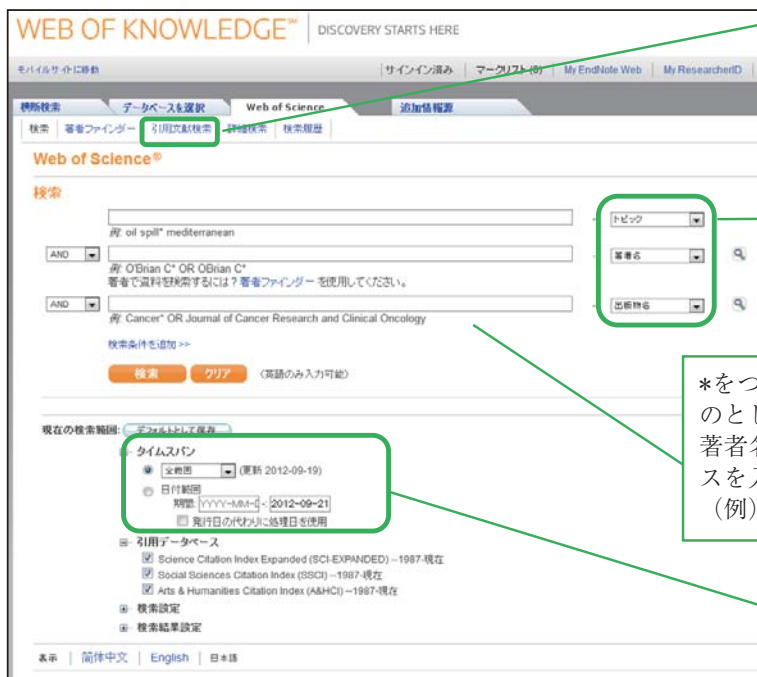
## 情報の探し方（４）英語の文献を探すとき

今回は岐阜大学で契約しているデータベースの中から、英語の文献を探す時に使えるオンライン文献検索データベース「WEB OF SCIENCE」を紹介します。

WEB OF SCIENCEは、45以上の言語で書かれた自然科学、社会科学、人文科学分野の約12000誌の雑誌を検索して、関心のある分野にもっとも関係のある論文を探し出すことができる引用索引データベースです。岐阜大学では1987年以降の文献を検索することができます。

### WEB OF SCIENCE

〈検索画面〉



引用文献検索を使うと、引用文献を「著者名」「刊行物名」「出版年」等で検索することができます。

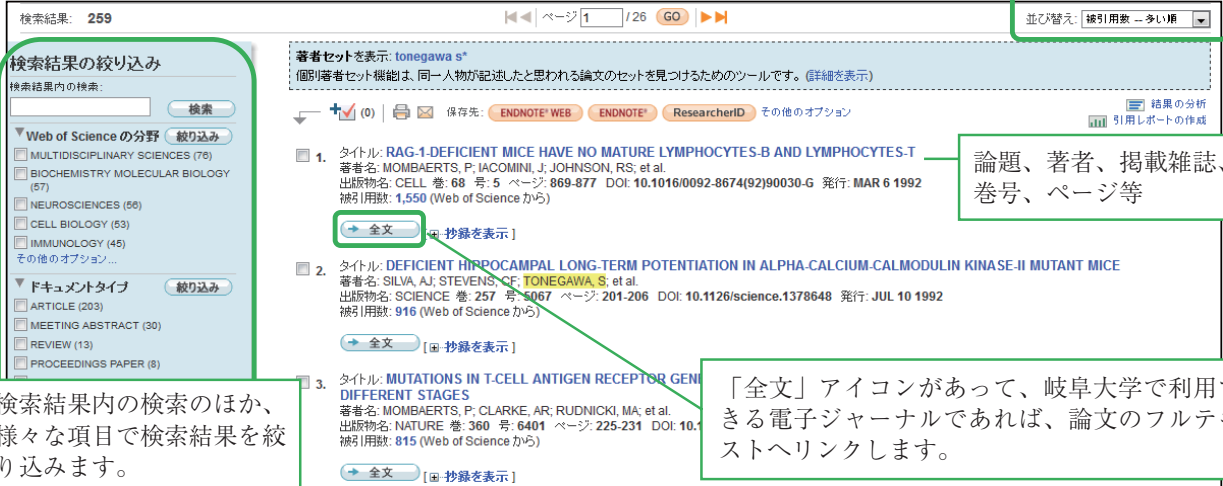
検索項目は、「トピック」「タイトル」「著者名」「グループ著者名」「編集者」「ジャーナル名」「発行年」「著者所属」「ResearcherID」等。

\*をつけると、そこに0文字以上の文字があるものとして検索します。  
著者名を検索するときは、姓から入力し、スペースを入れて、名前のイニシャルを入力します。  
(例) tonegawa susumu → tonegawa s\*

タイムスパンを設定します。  
岐阜大学では1987年以降の論文を検索することができます。

検索結果を「出版日」「被引用数」「第一著者名」「ジャーナル名」等で並び替えます。

〈検索結果画面〉



論題、著者、掲載雑誌、巻号、ページ等

「全文」アイコンがあって、岐阜大学で利用できる電子ジャーナルであれば、論文のフルテキストへリンクします。

検索結果内の検索のほか、様々な項目で検索結果を絞り込みます。

WEB OF SCIENCE の最大の特徴は、1つの論文を元にその引用関係が調査できる点です。引用文献だけでなく、論文が発表された後にその論文を引用した論文も見つけることができます。また、その論文が引用した論文を同じく引用した別の論文を調べることもできるので、関連度の高い論文を探し出すことが可能です。  
 〈フルレコード表示画面〉

**被引用数: 1,565**  
 引用アラートの作成  
 この記事は Web of Knowledge で 1,565 回引用されています。

**被引用数**…この論文を引用した論文を調べることができます。

**Related Records**…この論文の引用論文と同じ論文を引用した論文を調べることができます。

**引用文献**…この論文が引用した論文を調べることができます。

**引用文献: 50**  
 (Web of Science® から)このレコードの引用文献リストを表示します。

**追加情報**  
 • ジャーナルのインパクトファクター (Journal Citation Reports®) を表示

〈インパクトファクター調査〉

WEB OF SCIENCE では、インパクトファクターを調査することができます。

インパクトファクターは、ある雑誌が一定期間にどれくらい引用されるかを示しており、ある特定の一年における雑誌の影響度を示す尺度です。

**CELL**  
 Click on the "Return to Journal" button to view the full journal information.

| JCR Years | Impact Factors |
|-----------|----------------|
| 2007      | 29.087         |
| 2008      | 31.253         |
| 2009      | 31.152         |
| 2010      | 32.406         |
| 2011      | 32.403         |

**2011 Impact Factor**  
 Cites in 2011 to articles published in: 2010 = 9204    Number of articles published in: 2010 = 319  
 2009 = 13219    2009 = 373  
 Sum: 22423    Sum: 692  
 Calculation: Cites to recent articles / Number of recent articles = 22423 / 692 = **32.403**

Point

見つけた論文が電子ジャーナルで閲覧できず、図書館でも雑誌を所蔵していない場合、他大学から複写物を取り寄せることができます (有料)。図書館ホームページ My Library の「文献複写・図書貸借依頼」から申し込むか、もしくはカウンターにご相談ください。

WEB OF SCIENCE は、学内の LAN につながったパソコンからのみの利用となります。利用の際は図書館ホームページ (<http://www1.gifu-u.ac.jp/~gulib/>) オンライン文献検索からアクセスしてください。

## /// お 知 ら せ ///

### 平成23年度ラーニングcommons利用状況について

平成23年4月に学生の主体的な学習の場として本館2階に新設したラーニングcommonsの平成23年度の利用者数は約4万人でした。またこの場所で4月、5月、10月に図書館利用講習会「資料の探し方・日本語論文の探し方、英語論文の探し方」、日経読み方アドバイザーによる「新聞がわかる！日経新聞おもしろ講座」、「日経テレコン21利用講習会」を開催しました。

ラーニングcommonsでは共同討議やグループ学習、新聞・雑誌の閲覧、BBC放送の視聴ができます。プレゼンルームはプロジェクターとスクリーンを備えており、プレゼンテーションやその練習ができるほかグループ学習にも使えます。ぜひ、幅広く活用してください。

### 携帯電話ボックスを設置しました

本館2階カウンター前と3階渡り廊下に携帯電話ボックスを設置しました。館内にて携帯電話で通話する必要が生じた時は、この携帯電話ボックスをご利用ください。

ただし、他の利用者の迷惑にならないよう携帯電話ボックス内でも小声で通話してください。



### 感震式書籍落下防止装置を設置しました

図書館では、書架の上部2段に感震式書籍落下防止装置を設置しました。震度4レベル以上の地震を感じると自動的に作動して安全バーが上がり、書籍の落下を防止して書架の間にいる人への被害を少なくする装置です。



なお、地震時には、書架、集密書庫、積層書庫から速やかに離れてください。